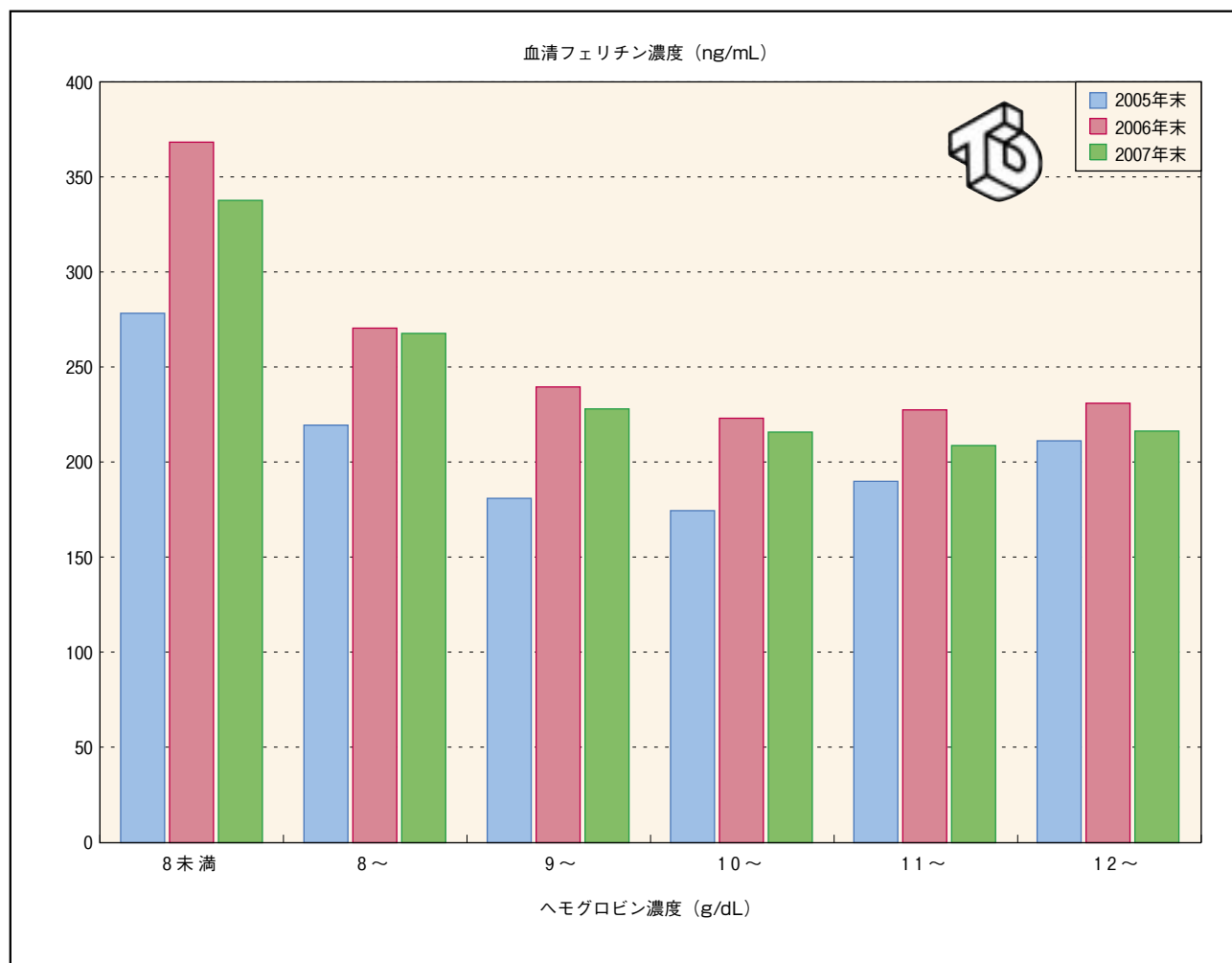


3) 腎性貧血治療の現状

(5) ヘモグロビン濃度と鉄代謝（血清フェリチン濃度）（図表34）



ヘモグロビン濃度 (g/dL)	8未満	8～	9～	10～	11～	12～	記載なし
2005年末血清フェリチン濃度 (ng/mL)	278.54	219.70	181.18	174.70	190.13	211.44	191.51
2006年末血清フェリチン濃度 (ng/mL)	368.56	270.72	239.80	223.31	227.74	231.22	246.50
2007年末血清フェリチン濃度 (ng/mL)	337.95	267.96	228.25	216.04	208.97	216.59	271.83

患者調査による集計

解説

血清フェリチン濃度を、ヘモグロビン濃度ごとに2005年末・2006年末・2007年末の時点で比較した。2007年度の血清フェリチン値は、すべてのヘモグロビン濃度において2005年末より高く2006年末より低く、各年の鉄剤投与の行動パターンの変化が推測される。2005年末・2006年末・2007年末のいずれの年においても、ヘモグロビン濃度が11.0g/dL未満の場合には、ヘモグロビン濃度の低下するに従い血清フェリチン値は上昇していた。ヘモグロビン濃度が11.0g/dL以上の場合には、血清フェリチン値は2006年末では230ng/mL前後と、2007年末は215ng/mL前後で一定の値をとっていた。